



HIROSAKI
UNIVERSITY

2014年度 弘前大学 シニアサマーカレッジ

開催期間 2014年9月7日(日)^{SUN} ~ 9月12日(金)^{FRI}

津軽ふるさと学紀行 —弘大最前線—

弘前感交劇場®

「青森」の文化・自然をテーマとした講義をはじめ、
様々な講義をご提供します。

北の青森の地で、
青春のひとときを満喫する

弘前大学のシニアサマーカレッジ

国立大学法人弘前大学は、学問のほぼ全領域をカバーする、人文学部、教育学部、医学部、理工学部、農学生命科学部の5学部から成り、大学院生を含め学生総定員6,600名を擁する中規模総合大学です。

皆さんもご存知の世界自然遺産白神山地、桜の名所弘前公園などの自然に恵まれ、育まれた歴史と文化の薫り高い弘前市において、総合大学の特性を生かして、この21世紀を生き抜く活力ある人材の育成にあたっています。



弘前大学長
佐藤 敬

今年も地域の方々や学内教職員の皆様のご協力によって、弘前大学シニアサマーカレッジを企画することができました。皆様のご尽力に感謝するとともに、今年も全国から多くの方々をお迎えできるよう願っています。

弘前大学は青森県唯一の国立総合大学ですが、多くの人は青森県と言えばリンゴを連想されると思います。リンゴは我が国の輸出農産物の第一位を占めていますが、弘前大学においてもリンゴの品質向上を目指した研究などが進められています。そしてリンゴに限らず、弘前大学は地域の発展に貢献すべく、さまざまな研究や人材育成を実施してきました。このシニアサマーカレッジを通して、そのような姿の一端を紹介できればと思います。

また、弘前市は文化的・歴史的資源が豊富で、さらには、岩木山や白神山地、十和田湖をはじめ恵まれた自然にも囲まれています。今回も、弘前大学の研究者がフィールドとして環境関連の調査・研究を実施している世界自然遺産白神山地をご紹介するプログラムが含まれています。

是非、弘前大学シニアサマーカレッジ2014「津軽ふるさと学紀行」に多くの方々のご参加をいただき、弘前市や周辺地域の産業、文化や自然について触れていただくとともに、地域と一体となった弘前大学の取組を知っていただく機会になれば幸いです。

index 目次

- | | | | |
|-----|---|-----|-------------------------|
| 1 | 開講挨拶 | 5~6 | 弘前大学キャンパスのご案内 |
| 2 | 2014年度弘前大学シニアサマーカレッジの特徴、お申し込みから受講まで、シニアサマーカレッジQ & A | 7 | 弘前大学周辺のご案内 |
| 3~4 | スケジュールと講義内容 | 8 | 2014年度弘前大学シニアサマーカレッジ申込書 |



**2014年度
弘前大学
シニアサマーカレッジの特徴**

シニアサマーカレッジとは、旅とともに学ぶ、遊学精神に溢れる全国の50才以上の方々を対象とした生涯学習プログラムのひとつです。御存知のように津軽は自然豊かな恵みの地ですが、一方、日本文化基層とも言える縄文文化を底流に多彩な文化文芸の地でもあります。

今回は、弘前大学最前線と称し、近年の高齢化社会の進展とともに健康や医療の情報が溢れているなか、健康教養の本格的、正統的なカリキュラムをお届けすることにしています。

医学研究科長の健康講話、附属病院長からの医療現場のお話、そして極めつけは、医療現場、教育現場の第一線で医師養成や治療に当たる教員からの高度で先進的な医学の現状を体験も交え、学んでいただくことになっています。

また、築城400年(2011年)を迎えた弘前城物語の最前線、そして健康につながる食にまつわる最前線として自然農法の実践、青森県の食材の魅力やその機能性等、特別コースも魅力いっぱいです。

さらに定番となっている世界自然遺産白神山地のトレッキングや自然学習のほか、太宰治にまつわる弘前のまちや明治時代の弘前地図、津軽のくらしと文化の魅力など、歴史・文化・文学のカリキュラムも用意しております。多くの皆さんに御満足いただけるカリキュラムではないかと自負しております。

そして大いに学んでいただくと同時に全国からの学び仲間との交流、オプションツアーは今や全国的にも有名な路地裏探偵団などのナイト観光や学生との触れ合い等、旅の思い出になるような企画も用意しております。是非、さわやかな秋の気配漂う北のふるさと弘前で「りんご色の休日」を過ごしてみませんか。

お申し込み
から
受講まで

○申し込み

弘前大学ホームページのお知らせ「イベント情報」(<http://www.hirosaki-u.ac.jp/news/event/>) から申込書をダウンロードしていただくか、付属の申込書の必要事項を記入の上、シニアサマーカレッジ受付デスクへ郵送またはFAXでお送りください。
(シニアカレッジ受付デスク(弘前観光コンベンション協会) 0172-35-3132)

○受講料支払(募集定員)

受講料 3日間コース 25,000円(50名) 特別講義2 15,000円(50名)
特別講義1 10,000円(30名) (いずれも消費税込み)

受講料に含まれるもの：各コースの講義、入学式、修了式、
キャンパス見学、ウエルカムパーティ、
学外講義の移動バス代など

受講料に含まれないもの：ご自宅から会場までの交通費、宿泊代など

申込書到着後、「受講料払込用紙」をお送りしますので、お近くの金融機関で支払い手続きをしてください。



シニアサマーカレッジ受講

シニアサマーカレッジ Q & A

Q1 参加の条件は？

A1 50歳以上ならどなたでもご参加いただけます。また、50歳以上の方と同行される場合は、50才未満の方もご参加いただけます。ただし、特別講義1・2は、年齢制限なくどなたでも受講できます。



(写真は太宰治自筆ノート、弘前大学資料館 蔵)

Q2 問い合わせや申し込みはどうしたらいいの？

A2 カリキュラムについては弘前大学へ、お申し込み手続きなどについては、公益社団法人弘前観光コンベンション協会受付デスクへご連絡ください。《連絡先は裏表紙をご覧ください》

Q3 大学の施設は利用できますか？

A3 附属図書館につきましては、昨年からの改修工事に伴う移転作業のため、シニアサマーカレッジ期間中は利用できません。ご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。
なお、大学生協及び大学内コンビニでのお弁当、飲料などの販売営業は通常どおり行われます。

スケジュール と 講義内容



9/7 (日)	1コマ目 (9:00~10:30)	入学式・学長挨拶・オリエンテーション (404 講義室)	昼食・休憩 (お弁当手配) (404 講義室・他)	3コマ目 (13:30~15:00)	弘前の魅力・津軽の魅力 (404 講義室)	休憩	4コマ目 (15:15~16:45)	明治の弘前絵図から一人物と景色を探して (404 講義室)	移動	ウェルカムパーティ
9/8 (月)	講義3	ドクター中路健康概論 (医学部 臨床小講義室)	昼食・休憩 医学部会館(生協)及びその周辺 (受講者負担)	講義4	大学病院の救急医療 (臨床小講義室・附属病院)	休憩	講義5	医学教育の最前線-活躍する模擬患者とシミュレータ (臨床小講義室・附属病院)	移動	オプショントัวร์① (弘前路地裏探偵団)
9/9 (火)	(バス移動)	白神山地の自然 (白神トレッキング) (フィールド・座学)	昼食・休憩 (お弁当手配)	バス移動	白神の水資源 (フィールド)	休憩	(バス移動)	弘前大学へ移動 (車内ビデオ)	3日間コース 修了式	
9/10 (水)	特別講義1	弘前城・弘前城下の歴史 (博物館見学・石垣改修工事見学)	昼食・休憩 追手門広場及びその周辺 (受講者負担)	特別講義1	桜の健康管理-日本一長寿のソメイヨシノ (公園散策)	休憩	特別講義1	昭和初期の太宰治を中心として (文豪たちが語る弘前の魅力)	移動	オプショントัวร์② (弘前路地裏探偵団アパテドラ)
9/11 (木)	バス移動	赤い果肉のリンゴ「紅の夢」誕生をめぐる物語 (弘前りんご公園)	田んぼアート見学	バス移動	自然農法の実践 (フィールド)	バス移動	休憩	弘南鉄道大宮線 解説	中央弘前駅	
9/12 (金)	特別講義2	青森のげんき野菜たち (座学)	地域機能性食材 (座学)	終了						

■ 講義 ■ イベント ■ 移動 ■ 昼食・休憩
■ 3日間コース ■ 特別講義1 ■ 特別講義2

病院ガイダンス 大学病院の使命

医学部附属病院 病院長 藤 哲

県内唯一の特定機能病院としての大学病院の役割・特徴について簡単に紹介します。

講義 6 白神山地の自然

白神自然環境研究所 教授 石川 幸男

白神自然環境研究所 准教授 中村 剛之

白神自然環境研究所 助教 山岸 洋貴

白神自然観察園のブナやミズナラの林をめぐり、頂上にある「不識の塔」を目指します。途中、スタッフの解説を受けながら、林内に見られる植物や昆虫、哺乳動物の痕跡等を観察します。植生調査や昆虫を捕獲するトラップ等、観察園内で行われている様々な調査の様子もご覧いただけます。森林全体をとらえる見方や土の中の小さな生き物のくらしを学び、この講義を通して生き物たちのつながりを感じて頂きたいと思ひます。

※この講義はバスで弘前大学から白神自然観察園(西目屋村)へ移動し、白神自然観察園内で受講します(バス料金は受講料に含まれています)。講義後はバスで大学へ戻ります。当日は山を歩きやすい服装、靴をご用意ください。

講義 1 弘前の魅力・津軽の魅力

エッセイスト・「暮らしの手帖」社外ライター 弘前市リードマン・他 片山 良子

陸奥は道の奥の意で、広義では本州東北地方の古称である。津軽はその道の奥の奥に位置し、道の先は大海原へと続く。変化に富む自然環境は、人々に豊かな恵みを与えるが、苛酷な早魃や豪雪に立ち向かう力を培わねばならず、時には権力者や外敵から身を処する術にも長けなくてはならない。こうして負けてたまるかの反骨精神が方言の「情こ張り」となり、今に息づく弘前は、津軽の道の中心にある。奥知れぬ道にはわくわくする未知への期待と楽しみがあろう。「こんみど」「あずまいし」弘前が魅力的な陸奥を知るキーワードとなれば幸いである。

講義 2 明治初期の弘前絵図から

一人物と景色を探して

広瀬矯正歯科クリニック 院長 広瀬 寿秀

弘前市は空襲や大規模な都市計画がなかったため、弘前城を中心とした古くからの町並みや町名がそのまま残っている珍しい街です。同時に、ジャーナリストの陸羯南、外交官の珍田捨巳、青山学院院長の本多庸一、探検家の笹森儀助など多くの人材を輩出したところ。ここでは明治初期の弘前絵図(明治二年弘前絵図、明治初期地籍図)を参考にしながら、江戸時代の弘前城下およびそこに住む人物について、お話ししたいと思います。皆様と一緒に140年前の弘前にタイムスリップしましょう。

講義 3 ドクター中路健康概論

大学院医学研究科長 教授 中路 重之

健康に関すること、たとえば①ご自身やご家族の健康の悩み、②昔から疑問に思っていたこと、③最近の話題、などについて、この際思い切って話してみませんか。弘前大学の教員がどのくらい知っているか試してみたいと思ひませんか。そして、講義が終わったら「あれ、少し賢くなったかな」と思いたくないですか。「やっぱりシニアカレッジは弘前大学だ!来年も友達を誘って受講するぞ!」そんな感想を聞きたいです。

講義 4 大学病院の救急医療

大学院医学研究科 准教授、高度救命救急センター副センター長 花田 裕之

高度救命救急センターは2010年に開設され、弘前市周辺のみならず青森県から秋田県北部地域の救急・重症患者のいわゆる「最後の砦」として診療を行っています。多発外傷や心停止、中毒、熱傷といった一般的な救急医療とともに災害医療にも積極的に取り組み東日本大震災では宮古にDMAT2隊を派遣しました。緊急被ばく医療への取り組みも他にない特徴で、福島第一原発事故後の現地での救急室運営には現在も医師派遣をしています。救命センターの活動とともに、簡単な救急処置を紹介したいと思います。

講義 5 医学教育の最前線

一活躍する模擬患者とシミュレータ

医学部附属病院 総合診療部長、卒業臨床研修センター長、スキルアップセンター長 加藤 博之

最近の医療の進歩は著しく目を見張るばかりですが、実は医師を育てるための医学教育の世界も日進月歩です。ひと昔前までは、医学生は多くの講義を聴いて、ひたすら医学知識を暗記するイメージでしたが、今の教育は違います。模擬患者さんという「患者役を演じてくれる」ボランティアの方を相手に問診の訓練をしたり、コンピュータやCG(コンピュータグラフィックス)と連動させた、驚くほど精巧な各種シミュレータを使って医療技術の練習をしたりします。一般の方はあまりご存じでない医学教育の舞台裏へ皆さんをご案内しましょう。

特別講義 1 弘前城・弘前城下の歴史

弘前市立博物館長・弘前大学名誉教授 長谷川成一

1611年(慶長16)、弘前藩2代藩主津軽信枚(のぶひら)によって築城された弘前城は、明治維新にいたる約260年間、津軽氏の居城としてだけでなく弘前藩10万石の政治機関としても機能してきました。当講義では、弘前藩政史の中での城の位置づけとともに、城下町の形成・発展、藩政の推移による城下町景観の変容等を解説し、明治維新に至る城と城下町弘前の歴史をたどります。また、博物館と石垣修理の現場にも案内します。(博物館と石垣の見学は、歩きやすい靴を履くようにして下さい。)

特別講義 1 桜の健康管理

～日本一長寿のソメイヨシノ～

弘前市都市環境部公園緑地課 参事(校守) 小林 勝

日本国内に植えられているサクラのうち、8割を占めると言われているソメイヨシノ。その豪華な花と散り際の美しさは多くの日本人に愛されてきました。ソメイヨシノは江戸時代に出現したサクラで、明治になって全国に広まりましたが、寿命は60年とも80年とも言われ、短命な品種と考えられてきました。しかし、弘前公園では独自の管理方法により、樹齢が100年を超すソメイヨシノが現在300本から400本あると考えられ、ほとんどが若木より多くの花を豪華に咲かせています。その長寿の秘密を、日本一長寿のソメイヨシノをご覧いただきながら解説いたします。

特別講義 1 昭和初期の太宰治を中心として

一文豪たちが語る弘前の魅力

弘前医療福祉大学 教授 齋藤三千政

太宰治は、昭和2年から5年まで、弘前市(現在の「太宰治まなびの家」)に下宿しました。その3年間で、彼が作家になる夢を加速したことは、代表作「津軽」をはじめ、他の作品でも触れています。また、弘前の魅力についても多く筆を運びました。本講座では、太宰治が描いた弘前を中心に、ちょうどそのころ弘前に住んだことのある、井上靖と安岡章太郎の両文豪が、弘前との関わりをどう語ったか、さらに弘前の地に立った文学者、たとえば、司馬遼太郎、高見順、丸谷才一、山崎正和たちが、弘前の魅力をどのように描いたかを探るものです。

特別講義 2 赤い果肉のリンゴ「紅の夢」誕生をめぐる物語

農学生命科学部附属生物共生教育研究センター-藤崎農場助教 松本 和浩

世界一のリンゴ品種「ふじ」は現在の藤崎農場の地で誕生しました。それから半世紀、藤崎農場は果肉まで赤いリンゴ「紅の夢(くれないのゆめ)」など、リンゴ産業に新たな風を吹き込む品種群を育成し、地域社会とともに世界に普及させることを目指しています。1年に1度しか実のならないリンゴの育成・栽培研究は独特の難しさがあり、根気と大らかさが必要です。赤い果肉のリンゴをめぐる最新の話題と、誕生に隠された長い伝統について、科学、文化の両面からお話ししたいと思います。

特別講義 2 自然農法の実践

㈱ファームマルス 代表取締役社長 成田 陽一

「奇跡のリンゴ」と呼ばれている木村秋則さんのりんご栽培(無農薬無肥料)を野菜に应用于栽培しています。この栽培方法が科学的に証明され普及すれば、より多くの方が安全な農産物を手に入れる事が出来るようになります。自然農法について、農園での作付け実習をおとして学んでいただきたいと思います。

特別講義 2 青森のげんき野菜たち

農学生命科学部 准教授 前田 智雄

青森県は意外と知られていないのですが、東北一の生産額を誇る野菜の大産地です。日本一の生産量を誇るニンニク、ナガイモ、ゴボウは健康に役立つ「機能性野菜」の代表格です。その他の有力品目であるダイコン、ニンジン、トマトなどもいっしょに「機能性成分」を豊富に含んでいます。本講では、野菜に含まれるさまざまな機能性成分が私たちの健康に役立つ仕組みを説明し、さらに青森県の野菜生産の特色や特産野菜、今後生産拡大が期待される品目について紹介し、野菜王国青森の魅力をお伝えしたいと思います。

特別講義 2 地域の機能性食材

教育学部 特任教授 加藤 陽治

昔から医食同源(薬食同源)という言葉があります。食事で病気を防ぎ、健康を維持するということも重要です。食品にはもともと健康を維持する成分が含まれていることを意味し、疾病の予防は日常の食生活を通して行うことが重要です。青森県は三方を海に囲まれ、自然環境に恵まれております。その恵みにより作り出され、特長的な機能性を示す食品素材が数多くあります。その中から、果肉まで赤いリンゴ、カンス(黒豚スリ)、ナガイモ、寒締めコマツナ、雪の下ニンジン、温泉モヤシなどについて紹介します。

※この講義は、1日目は、バスで弘前りんご公園へ移動しリンゴについての講義等を行います。その後、バスで移動し田んぼアートを見学してから昼食(無農薬野菜弁当)・休憩をいたします。午後は、自然栽培農法野菜の作付け実習を行い、弘南鉄道を利用して弘前へ戻ります。(バス料金・昼食代・田んぼアート見学料・弘南鉄道乗車賃は受講料に含まれています。)2日目は、弘前大学にて講義(座学)を行います。

キャンパスマップ

キャンパスを歩く...

懐かしい感覚...
新しい自分...
ここ 弘前で見つける。

コラボ弘大

研究推進部
研究推進課・社会連携課

弘前大学創立60周年を記念し、弘前大学の全学にまたがる産学官連携及び社会貢献に関わる事業を集中化し、学内外の利便性を高めることを目的とした複合ビルです。



大本営跡記念碑

明治31年10月10日、現在農学生命科学部と理工学部の建物がある敷地に陸軍第8師団司令部が開設されました。

大正4年大元帥(大正天皇)を迎え、弘前練兵場で特別陸軍大演習が行われた際、師団司令部に大本営を置いたことを記念して建てられたもの。

碑は彫り込まれた文字が磨耗して大変判読しづらくなっているため、以下に全文を示します。

「大本営跡(右から横書き)」
「大正四年十月十九日 大元帥陛下大演習 御統裁ノ為當弘前二御着軍 月二十四日 迄當師団司令部ヲ大本営ト定メサセラレ 御駐軍遊バサル 紀元二千六百年八月一日 弘前師団司令部」
「初代弘前師団長 伊藤知剛 謹書(碑の側面)」

昭和15年8月1日建立



資料館

本館は、「弘前大学 過去から未来へ」をテーマとして開館しました。太宰治が学んだ旧官立弘前高等学校などの前身各から現在の本学に至る歴史、そして未来へとつながる多彩な研究成果など、弘前大学のエッセンスを凝縮した展示をお楽しみ下さい。



旧官立弘前高等学校 創立70周年記念碑

現在大学本部、保健管理センター、総合教育棟、図書館、人文学部、教育学部、第一体育館、学生会館のある敷地には、大正10年4月に開校した旧制弘前高等学校がありました。台座正面には「弘高生青春之像」と刻まれ、その上に学帽をかぶった学生服と袴姿の旧制弘高生2名が並んで遠くを臨んでいる像が立っています。右横には校歌1番の歌詞、左横には製作者の名(高橋剛:旧弘高同窓会、恩賜賞、日本芸術院賞受賞者)があります。ちなみに校歌の作詞は「荒城の月」で有名な土井晩翠。また、横にある「旧官立弘前高等学校在校生名簿」には、太宰治の本名が刻まれています。



平成元年8月5日建立

附属図書館

(26年10月 リニューアルオープン)
学生にとって本は大切なアイテム。だから図書資料所蔵は現在約80万冊。CD-ROM等の電子資料や電子ジャーナル約2100タイトルの閲覧も可能。学外者の方にも広く公開しています。

加藤謙一記念碑

平成22年9月、本学の前身である青森県師範学校の卒業生で、戦前から戦後にかけて「少年倶楽部」「野球少年」「漫画少年」など少年雑誌の編集に一生を捧げ、手塚治虫、寺田ヒロオ、藤子不二夫、石ノ森章太郎、松本零士など戦後を代表する名だたる漫画家を育て、今日の漫画文化の礎を築き名編集長と謳われた、加藤謙一氏の文庫が附属図書館内に開設されました。また文庫開設記念として記念碑が附属図書館正面玄関前に建立され、記念碑には、氏が編集者を目指す原点となった富田小学校の学級紙「なかよし」の文字が記されました。



創立50周年記念会館

弘前大学のいままでの歩みを伝える、歴史と出会う記念館。多目的ホールとして卒業生や地域の方々にも開放し、ふれあいの中で大学活性化をめざしています。



旧制弘前高等学校外国人教師館

弘前大学の前身である旧官立弘前高等学校の外国人教師のための宿舎として大正14年(1925)に建てられ、弘前大学に移管後も教職員宿舎として使用されてきました。



太宰治「文学碑」

平成22年6月、弘前大学創立60周年記念事業の一環として、官立弘前高等学校の卒業生であり、生誕100周年を迎えた太宰治と本学の深い縁を恒久的に伝えるため、太宰治「文学碑」が建立されました。かの名作「津軽」から、序章の一節にある人生の旅立ちを示唆するかのよう一文が碑文として刻まれています。

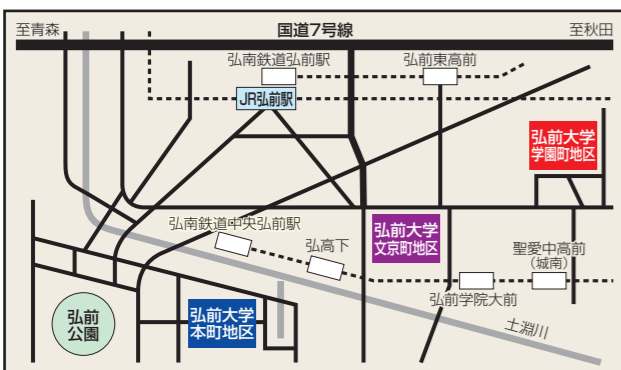


大学会館

1階は学生食堂、大学生協会館、プレイガイド、コンビニ。2階には喫茶店(スコラーム)があり、会館店では書籍やCD、雑誌等を取り扱っており、プレイガイドではJR切符、航空券も扱っております。お昼時には学生食堂、会館店を訪れる学生の寛ぎと憩いの場となります。



文京町地区まで
①弘前駅からバスを利用
●小栗山・狼森・自衛隊・学園町行きいずれかを利用
弘前大学前又は農学生命科学部前で下車
②弘前駅からタクシーを利用(約10分)



初日のキャンパス案内は
私たち「路地裏探偵団Z」が担当します。
〜私達の学び舎を学生の目線からご案内します!〜
《メンバー》しおりん(人文4年)・ゆってい(理工4年)
だいきゃん(理工4年)



「路地裏探偵団Z」とは、弘前路地裏探偵団(今回オプションツアー担当)のスピノフチームとして大学生だけで作られたグループです。現在はFM番組に出演したり、ウェブ動画で弘前の魅力を発信するなどの活動を行っています。

弘前大学サイエンス・パークについて

弘前大学では、小中高校の児童、生徒へ科学の教材を提供し、科学に対する関心を深めていただくことを目的として、本学の文京町地区敷地内に、本学教職員が研究開発した標本等を展示公開しています。

- サイエンス・パーク総合案内
旧制弘前高等学校外国人教師館
連絡先 TEL・FAX 0172-39-3980
E-mail jm3980@cc.hirosaki-u.ac.jp
開館日: 年末年始を除く毎日
開館時間: 9:00~16:00
- 各学部展示場の見学時間
9:00~17:00(土・日・祝日・年末年始を除く平日)

弘前大学周辺 のご案内

藤田記念庭園

洋館と和館が並び立つ趣き

上白銀町から馬屋町に広がるこの庭園は、本市出身の実業家 藤田謙一が、大正年間に別荘として造らせたものです。面積は、2.18ヘクタールあり、高台には登録有形文化財の洋館、和館、考古館などのほかに、岩木山を望む庭園が広がり、低地には茶屋もあり、四季折々に自然を楽しむことができます。毎年6月の最終日曜日は無料で開放しています。



- 開園期間／4月中旬～11月23日
- 開園時間／9:00～17:00（入園券の発売は16:30まで）
- 入園料（*団体10名以上）※洋館のみ入園の場合無料／大人（高校生以上）310円 団体大人250円
- アクセス／弘前大学よりタクシーで15分。弘前駅からバスで20分「市役所前公園入口」下車、徒歩3分

弘前公園

堂々たる城に、
歴史の感動を見る。

青い空にそびえる弘前城天守閣や城門。これぞ津軽統一を果たした津軽氏の偉業の跡といえる公園です。学びの合間の心なごむ散歩コースとしておすすめ。



- ※天守閣近辺の区域は入場料金が必要です。（H26.11.23まで入場可）
- 有料時間／9:00～17:00
- 単独券（弘前城）／個人310円、団体250円
- 共通券（弘前城・弘前城植物園）／個人510円、団体460円
- ※弘前城天守（史料館）入館料含む
- ◎団体…10名以上
- アクセス／弘前大学よりタクシーで15分。弘前駅からバスで20分「市役所前公園入口」下車、徒歩3分

弘前市街地マップ



市立郷土文学館

津軽の地に育まれた 文学者たち

市立図書館の一角にあり、1階の展示室では、佐藤紅緑や太宰治など、郷土出身の9人の作家と弘前にゆかりのある作家を紹介しているほか、企画展や方言詩のコーナーもあります。2階は「石坂洋次郎記念室」で、愛用品や著作、写真などを展示しています。



- 開館時間／9:00～17:00
- 観覧料／一般100円
- 休館日／年末年始、整理期間
- アクセス／弘前大学よりタクシーで15分。弘前駅からバスで20分「市役所前公園入口」下車、徒歩1分

旧市立図書館

津軽の歴史を彩る 洋風建築の一つ

明治39年から昭和6年まで、市立図書館として利用されました。建物は、木造洋風3階建てで、ルネッサンス様式を基調としながら、随所に和風様式が取り入れられています。1階は、旧市立図書館の形態を復元し、当時の関係資料も展示しています。2階には、地方出版物や同人誌の紹介、ビデオによる文学碑めぐりのコーナーなどがあります。



- 開館時間／9:00～17:00
- 入館料／無料
- アクセス／弘前大学よりタクシーで15分。弘前駅からバスで20分「市役所前公園入口」下車、徒歩1分

太宰治 まなびの家

作家を志し 三年間過ごした下宿

作家太宰治(1907-48年)が、旧制弘前高校時代に下宿した弘前市御幸町の民家。1階には玄関から続く通り土間、いろりのある座敷、女中部屋などがあり、2階に太宰が下宿した部屋がある。2006年4月にオープンしたホットな人気スポット。



- 開園時間／10:00～16:00
- 入館料／無料
- アクセス／弘前大学正門より徒歩約10分

2014年度 弘前大学シニアサマーカレッジ申込書

※ 参加者1名につき1枚使用，太枠内を必ずご記入ください

ご希望のコースに○をつけてください。

<input type="checkbox"/> 3日間 (25,000円)	<input type="checkbox"/> 特別講義1 (10,000円)	申込日	2014年	月	日
	<input type="checkbox"/> 特別講義2 (15,000円)				

ふりがな				生 年 月 日	性 別
氏 名				19 年 月 日 (大正・昭和 年) (歳)	男・女
ふりがな					
現住所	〒 -				
自 宅 番 号	携 帯 番 号		E メ ー ル		
- -	- -				
受講中の 緊急連絡先	氏 名		住 所		
	参加者との続柄 ()		〒 - 電話： - -		

弘前大学シニアサマーカレッジをどのようにお知りになりましたか？

- 新聞記事 (新聞名：) 新聞広告 (新聞名：)
 雑誌記事 (雑誌名：) 雑誌広告 (雑誌名：)
 インターネット (サイト名：)
 その他 ()

申し込み締め切り：平成26年7月31日(木)

ただし，各コースとも募集定員に達した時点で申し込みを締め切らせていただきます。
(3日間コース：50名，特別講義1：30名，特別講義2：50名)

お申し込み先	公益社団法人 弘前観光コンベンション協会 〒036-8588 青森県弘前市大字下白銀町2-1 弘前市立観光館内 電話：0172-35-3131 FAX：0172-35-3132
--------	---

— 個人情報のお取り扱いについて —

お客様の個人情報は，弘前大学のシニアサマーカレッジ関係の各種案内，大学情報，その他関連情報をお送りするために使わせていただきます。それらの目的以外に使用する場合は，事前にお客様に通知してご同意をいただきます。また，ご提供いただいた個人情報は慎重に管理し，紛失，漏洩等を防止するために，安全管理措置を講じています。

MEMO

Lined area for writing a memo, consisting of multiple horizontal dashed lines.

カリキュラムについてのお問い合わせは…

2014年度弘前大学シニアサマーカレッジ事務局

お申し込み手続きは…

**シニアサマーカレッジ受付デスク
(弘前観光コンベンション協会)**

—個人情報のお取り扱いについて—
お客様の個人情報は、弘前大学のシニアサマーカレッジ関係の各種案内、大学情報、その他関連情報をお送りするために使わせていただきます。それらの目的以外に使用する場合は、事前にお客様に通知してご同意をいただきます。また、ご提供いただいた個人情報は慎重に管理し、紛失、漏洩等を防止するために、安全管理措置を講じています。



国立大学法人 弘前大学

2014年度弘前大学シニアサマーカレッジ事務局
(弘前大学研究推進部社会連携課内)

〒036-8560 青森県弘前市文京町1

TEL 0172-39-3904 / FAX 0172-39-3919

E-mail jm3904@cc.hirosaki-u.ac.jp

URL <http://www.hirosaki-u.ac.jp/news/event/>

シニアサマーカレッジ受付デスク (弘前観光コンベンション協会)

〒036-8588 青森県弘前市大字下白銀町2-1 弘前市立観光館内

TEL 0172-35-3131 / FAX 0172-35-3132

※ 受付日時 月～金 10:00～18:00 (祝日を除く。)

URL <http://www.hirosaki-kanko.or.jp/web/index.html>